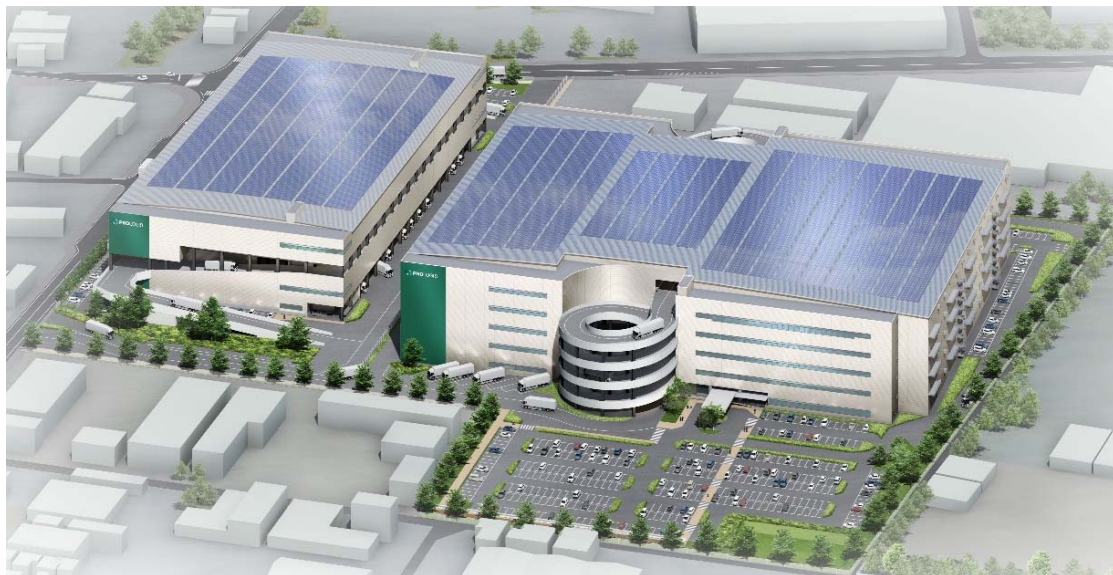


**プロロジス、千葉北 IC 至近に、マルチテナント型・BTS 型併設の
物流拠点「プロロジスパーク千葉」を開発**

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田御酒)は、千葉県千葉市稲毛区において、賃貸用物流施設 2 棟からなる「プロロジスパーク千葉」の開発を決定したと発表しました。

東関東自動車道「千葉北 IC」至近の敷地内に、マルチテナント型施設「プロロジスパーク千葉 1」と、特定企業専用(BTS 型)施設「プロロジスパーク千葉 2」の開発を計画し、入居企業を募集します。大型の先進的物流施設の供給が少ない同エリアに、両タイプを併設することでスペースニーズを持つ企業へ多様な選択肢を提供いたします。



「プロロジスパーク千葉 1」(右)、「プロロジスパーク千葉 2」(左) 完成イメージ

■ 開発予定地

「プロロジスパーク千葉」は、千葉湾岸エリアから約 6km に位置し、国道 16 号と東関東自動車道の結節地点に開発されます。東関東自動車道「千葉北 IC」からわずか約 3km、京葉道路「穴川 IC」からも約 4km と至近です。



東関東自動車道と京葉道路の両高速を利用して都心部へアクセスすることが可能で、国道 16 号を利用した首都圏配送の利便性にも優れています。需要の高い物流施設集積地である、国道 16 号沿いと千

葉湾岸部の両特性を併せ持つエリアと言えます。

計画地周辺を包括する千葉市及び隣接市内には複数の住宅地が広がり、入居企業の円滑な労働力確保が期待できます。E コマース、首都圏へ配送する食品・日用雑貨、空港を利用した国際貨物など、多様な物流ニーズに対応できる物流適地です。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク千葉」は、約 96,300 m²の敷地内に、延床面積約 145,000 m²のマルチテナント型施設「プロロジスパーク千葉 1」と、延床面積約 66,000 m²の BTS 型施設「プロロジスパーク千葉 2」を擁する物流ハブとして開発されます。BTS 型施設は、入居企業の要望に応じて設計予定です。マルチテナント型も、ドライ倉庫以外に、冷凍冷蔵倉庫を含めてあらゆるニーズを想定し、今後のプレマーケティングによって仕様を決定します。アメニティ面では、多くの雇用を想定し、専用送迎バスの運行、保育スペースの設置、カフェテリアスペースの拡充など、働く人への環境を重視した施設計画を検討しています。

マルチテナント型施設「プロロジスパーク千葉 1」計画概要

名 称	プロロジスパーク千葉 1
開 発 予 定 地	千葉県千葉市稲毛区
敷 地 面 積	約 65,200 m ² (約 19,720 坪)
計 画 延 床 面 積	約 145,500 m ² (約 44,000 坪)
構 造	地上 5 階建て
着 工 予 定	2018 年夏
竣 工 予 定	2019 年秋

BTS 型施設「プロロジスパーク千葉 2」計画概要

名 称	プロロジスパーク千葉 2
開 発 予 定 地	千葉県千葉市稲毛区
敷 地 面 積	約 31,100 m ² (約 9,400 坪)
計 画 延 床 面 積	約 66,000 m ² (約 20,000 坪)
構 造	地上 4 階建てを想定 (入居企業の希望によりカスタマイズ)
着 工 予 定	2018 年
竣 工 予 定	2019 年

■ 千葉県内のプロロジスパーク

千葉県においては、「プロロジスパーク市川 1/2/3」や「プロロジスパーク千葉ニュータウン」など、19 棟の物流施設を開発・運営中であり、「プロロジスパーク千葉 1」が 20 棟目となります。プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当:古川
TEL:03-6860-9107 / FAX:03-6860-9020
E-mail: sfurukawa @prologis.co.jp